東京電力ホールディングス(株) 福島第二原子力発電所

2022年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(2022年12月26日(月)分)

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年12月26日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 Ⅰ: 該当なし

区分 Ⅱ: 該当なし

区分 Ⅲ: 該当なし

その他: 3 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	3･4号廃棄物処理設備	焼却設備排気モニタサンプリング装置において、実測温度が179℃であるにも関わらず、設定温度が190℃の「サンプルガス入口温度高」警報の発生が認められたため、原因調査・対策検討。	GⅢ	12月21日
2	3･4号廃棄物処理設備	プラスチック固化系ドラムハンドリング装置において、ドラム缶が「撹拌機位置」にあるにも関わらず、「撹拌機位置」の表示灯が点灯しないことが認められたため、位置検出スイッチを点検・修理。	GⅢ	12月21日
3	その他	「令和3年度 原子力発電所周辺環境放射能測定結果(年報)」の作成において、参考資料とした環境モニタリング評価部会の資料のうち気象測定結果記載箇所の年度が誤っていたことが認められたため、原因調査・対策検討。 なお、気象測定結果のデータは誤りのないことを確認している。	GⅢ	12月22日